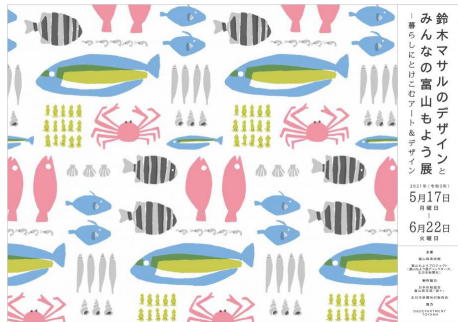


令和3年4月26日

TAD ギャラリー「鈴木マサルデザインとみんなの富山もよう展 一暮らしにとけこむアート&デザイン」開催のお知らせ

古今東西、さまざまな「もよう」が生みだされてきました。身近な自然や動物などがモチーフとなった「もよう」は、地域の特色の発見であり、表現、そして日々の時間を彩る色とカタチです。



「富山のいいもの、もようにしたら、富山をもっと好きになる」を合言葉として、2014年に始まった「富山もよう」。マリメッコやカンパールのデザインをはじめ世界的に活躍するテキスタイルデザイナーの鈴木マサルが富山の豊かな自然や文化を鮮やかなもようで表現、これまでに12柄が発表されてきました。デザインの視点で地域の魅力を共有する提案としても評価され、グッドデザイン賞「グッドデザイン・ベスト100」に選出されたほか、美術の教科書にもとりあげられるなど、広く注目を集めています。

本展は、富山もようの世界観をTADギャラリーの空間いっぱいに表現するものです。鈴木マサルが手がけるインスタレーションでは、代表的なもようが大胆なスケールで登場します。

富山の魅力を伝えるもようの醍醐味とともに、生活にとけこみ、創造力を喚起するアート&デザインの本質的な力を体感ください。

開催概要

会期

2021年5月17日（月曜日） 6月22日（火曜日）

休館日：水曜休館

会場

富山県美術館 1階 TAD ギャラリー

観覧料

無料

主催

富山県美術館、富山もようプロジェクト（富山もよう展ディレクターズ、北日本新聞社）

・制作協力

日本折紙協会富山県支部「遊々」、北日本新聞有沢販売店

・協力

D&DEPARTMENT TOYAMA

・制作企画・監修

富山もよう展ディレクターズ（小柴尊昭、鈴木マサル、高橋 理、川上典李子）

グラフィックデザイン：高橋 理

テクニカルディレクション：遠藤 豊（LUFTZUG）

見どころ

富山もよう初のアート&デザイン展

デザインを起点に地域を活性化するプロジェクトとして高い評価を得る、富山もよう。その高いデザイン性とメッセージ性のエッセンスがギャラリー空間いっぱいに広がり、富山の魅力そのものがアート&デザインになっています。

富山に暮らす人たちが参加するインスタレーション

富山もようがスタートした2014年より、新聞紙を使ったエコバッグづくりをはじめ様々な形で富山に暮らす人たちに親しまれてきました。ペーパークラフトのエコバッグを使ったアートや、様々な富山の人たちが登場する映像インスタレーションなど、ワクワクするような富山の人たちとのコラボレーションをご覧ください。

プログラム

オリジナルテキスタイル&ウォールアート

ワクワクする大胆な色・もよう。鈴木マサルのデザインワークの真髄を、空間の中で体感できる展示。

新聞エコバッグのトンネル

新聞というメディアがデザインの力によってユーザーの行動を「読む」から「つくる」「楽しむ」へと変えた象徴的な展示。

映像インスタレーション

鈴木マサルのドローイング風景と、富山の人たちが思い思いに地域の魅力を語る映像を用いて、誰もが知っている地域の魅力が、デザインを媒介として伝わり、広がっていく富山もようの本質を表現。

会期中のイベント

ギャラリーツアーの配信

5月22日（土曜日）予定

鈴木マサル氏によるギャラリーツアーの配信を予定しています。

詳細は、後日決定次第当館 WEB サイトなどでお知らせいたします。

TAD アートレクチャー

【富山県美術館デザイントーク】

5月29日（土曜日）予定

詳細は、後日決定次第当館 WEB サイトなどでお知らせいたします。

鈴木マサル氏プロフィール



2002 年、有限会社ウンピアット設立。2004 年からファブリックブランド OTTAIPNU を主宰。自身のブランドのほか、マリメッコ、ムーミン、ユニクロ、カンペール、ファミリア、Zoff など国内外のさまざまなメーカー、ブランドから作品をリリース。2015 年、富山の魅力をパターンデザインで表現した「富山もようプロジェクト」で第 35 回新聞広告賞を受賞。2016 年、ミラノで開催された Milan Design Week 2016 にて Milan Design Award 2016 “BEST ENGAGEMENT by IED” を受賞。誠文堂新光社より作品集「鈴木マサルのテキスタイル」を出版。2017 年三菱地所アルティウムにて「鈴木マサルのテキスタイル展」を開催。東京造形大学造形学部デザイン学科教授。

富山もよう関連 WEB サイト

<https://toyamamoyou.jp>（外部サイトへリンク）（別ウィンドウで開きます）

取材・掲載について

取材・掲載（画像申請）の申込み（PDF：1,807KB）

**MAKE
TOYAMA
STYLE**
BEYOND CORONA, WITH US



鈴木マサルのデザインとみんなの富山もよう展
—暮らしにとけこむアート&デザイン 広報用画像

写真①	写真②	写真③
		
写真④	写真⑤	写真⑥
		
写真⑦	写真⑧	写真⑨
		

お問い合わせ

富山県美術館 〒930 - 0806 富山県富山市木場町 3 - 20
tel : 076-431-2711 fax : 076-431-2712
メール : abijutsukan@pref.toyama.lg.jp
担当 : 広報に関して : 川浦 (広報)
展覧会に関して : 八木、望月 (学芸課)

**MAKE
TOYAMA
STYLE**
BEYOND CORONA WITH US



Press Release

令和3年4月26日(月)

鈴木マサルのデザインとみんなの富山もよう展
—暮らしにとけこむアート&デザイン 広報用画像申込書

FAX 076-431-2712 /E-mail: abijutsukan@pref.toyama.lg.jp

■裏面の記載の注意事項をお読みいただき、以下の必要事項をご記入の上、お送りください。

申込日			
貴媒体名			
(WEB の場合の URL)			
貴社名／部署			
ご担当者氏名		E-mail:	
ご住所	〒		
ご連絡先	TEL:	FAX:	
掲載／放送予定日	年 月 日	掲載号発売日:	年 月 日
記載企画内容			

※ご記入いただいた個人情報は、広報用写真貸出しの目的のみに使用し、それ以外の用途には使用いたしません。

■掲載ご希望の画像(□にチェックを入れてください)

広報用画像一覧・掲載時のキャプション・クレジット			
☐	①鈴木マサルデザインとみんなの富山もよう展 —暮らしにとけこむアート&デザイン 本展キービジュアル	☐	②展示イメージ 空間いっぱいに広がる富山もようの世界観。
☐	③富山もよう 2014年にスタートしてから、これまでに12種類のもようが発表されている。 ©富山もようプロジェクト	☐	④TATEYAMA ©富山もようプロジェクト
☐	⑤RAICHOU ©富山もようプロジェクト	☐	⑥TULIP ©富山もようプロジェクト
☐	⑦2014年に新聞紙面で発表された第1弾の富山もよう	☐	⑧暮らしに広がる富山もようの様子
☐	⑨鈴木マサル		

お問い合わせ 富山県美術館 〒930-0806 富山県富山市木場町3-20
tel: 076-431-2711 fax: 076-431-2712
メール: abijutsukan@pref.toyama.lg.jp
担当: 広報に関して: 川浦(広報)
展覧会に関して: 八木、望月(学芸課)

MAKE
TOYAMA
STYLE
BEYOND CORONA WITH US



富山県美術館 広報用使用画像について

- ◎ 本広報用画像の使用は、出版・放送（番組）・WEB 等、富山県美術館および展覧会の広報を目的とした報道に限らせていただきます。展覧会の広報にあたっては、展覧会名、会期、会場を必ずご掲載ください。
- ◎ 画像は「広報用画像申込書」に掲載または放送内容を具体的に記載の上、ご申請ください。富山県美術館より画像データをお送りいたします。**提供した画像データは、使用后すみやかに破棄してください。**
- ◎ 画像使用の際は、「広報用画像申込書」をご参照の上、所定のキャプションとクレジットを表記してください。
- ◎ 画像は全図で使用してください。作品が切れたりキャプション等の文字や他の画像がかぶったりしないよう、レイアウトにご配慮ください。
- ◎ WEB にてご掲載の場合には、コピーガード（※右クリック不可）を施しダウンロード不可にしてください。
- ◎ ロゴマーク・ロゴタイプに他のデザイン要素を重ねたり、横切らせたり、余白を削除したりすることはしないでください。
- ◎ 申請をいただいた媒体以外の企画（例：出版物表紙、広告素材使用は不可）での二次使用はできません。**再掲載・再放送などを希望される場合は、別途申請が必要です。**
- ◎ 基本情報と画像使用の確認のため、校正をメールで富山県美術館広報担当までお送りくださいますようお願いいたします。
- ◎ 掲載および放映いただいた場合、お手数ですが掲載紙・誌、URL、番組収録の DVD、CDなどを富山県美術館へのご提供をお願いいたします。

お問い合わせ 富山県美術館 〒930 - 0806 富山県富山市木場町 3 - 20
tel : 076-431-2711 fax : 076-431-2712
メール : abijutsukan@pref.toyama.lg.jp
担当：広報に関して：川浦（広報）
展覧会に関して：八木、望月（学芸課）

**MAKE
TOYAMA
STYLE**
BEYOND CORONA WITH US

